

2023年

# 組織強化・拡大と 労働条件改善に 全力をあげよう！



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 地口明世

No.1868

2023年

1月1日

## 国労加入を 大胆に訴えよう

### 組合員・家族の皆さん 新年明けまして おめでとうございます



年頭にあたり、地方本部を代表しご挨拶を申し上げます。

昨年は緊急搬送困難事案が過去最大となった一年でしたが、現在も新型コロナウイルス感染症は、アジア・欧米を中心に新たな変異株の発生を伴いながら拡がりつつ、日本においても第8波の感染再拡大が表面化する中、依然として医療現場はひっ迫しています。

また、検査体制や保健所機能、医療体制の拡充が必要にも関わらず政府の対応は、感染症対策に力点を置かず、全国旅行支援やインバウンドの制限解除を進めるなど、今もなお国民のいのちを蔑ろにする状況を

作り出しています。

さらに、長引くコロナ禍とウクライナ情勢の深刻化により日本経済は低迷し、エネルギー価格の上昇や急激な円安等による食料品や生活必需品等の物価高騰が家計を直撃し、格差と貧困がさらに拡がる中で、働く者の生活に大きな影響と先行き不安を与えています。

国民生活と暮らしを守るためにも、医療・介護・福祉の整備・拡充はもとより働く者の待遇・処遇改善や雇用・賃金・生活保障等の安定した確保のための抜本的な財政・人的支援体制など、徹底した実効性ある明確なコロナ対策を国・自治体に強く求め続けていかなければなりません。

## 最重要課題である組織強化・拡大の取り組みを

地方本部は、第91回定期全国大会での5年ビジョンの中間総括を踏まえ、次世代に運動・組織・財政を継承させるために、各級機関・組合員と連携を深めながら粘り強く組織強化・拡大運動を展開して参りました。

昨年一年間で神奈川県地区本部での女性社員をはじめ4名の新たな仲間を迎えられることができました。コロナ禍という厳しい情勢の中での取り組みに対し、関係されたすべての皆さまに厚く感謝を申し上げます。

今、労働組合不要論が強まる中でも、

職場で共に働く仲間の矛盾や思いなどの多くの声を共有化する努力を積み重ね、極め

細やかな世話役活動やSNS活用などの情報発信をはじめ、職場環境・労働条件改善に向けた真摯な取り組みが国労加入へと繋がったことは明白です。このことは、国労組合員一人ひとりへの信頼と期待の表れであることの証左であり、自信と確信を持つことが必要不可欠です。

組織拡大の展望と条件は紛れもなく職場にあります。

今ある組織現状を分析し、機関連動の活性化を図る中から拡大の条件と気運を創り

出し、労組未加入者を焦点に労働組合の存在価値と必要性を広く訴え続けることに全機関が最大限集中していく体制の強化を確立することが求められています。

次世代へ国労運動を着実に引き継ぐためにも、全組合員が組織への求心力をより高め、持続した実践活動の中から、全ての闘いを確実に組織強化・拡大の取り組みに集約していくことに総力を挙げていきます。

## 安全・安定輸送の確立と 全ての職場労働条件改善を

今もなおJR各社では、無理な要員削減や業務委託などが推し進められる中、重大なインシデントやトラブルの多発が後を絶たず、鉄道事業の最大の使命である安全・安定輸送が脅かされています。

同時に、相次ぐ合理化施策の中、全ての職場において労働密度が高まり、慢性的な要員不足と労働条件の劣悪化など「安全で安心して働き続ける環境」が奪われ続けています。

JR東日本会社は、「変革2027」の具現化に向けた組織の再編をはじめ業務改革・働き方改革・職場改革の「3つの改革」を通じた構造改革など、経営体質を抜本的に強化するとともに、営業統括センター発足などによる融合業務を推し進め、さらなる業務の集約化と体制の見直しなど、コスト削減に名を借りた効率化施策を強めています。

JR貨物会社においても、さらなる働き度の向上と全系統での要員削減と賃金抑制、JRバス会社では、労働環境の悪化と要員不足が続く中で健康破壊や離職していく仲間が後を絶たない状況です。

鉄道輸送業務に携わる労働組合として「安全の確立」は何よりも優先すべき課題であるだけに、JR施策の検証やコンプライアンス遵守、経営に対する適切なチェック体制と提言活動等を強め、安全風土の定着を求めていくことが極めて重要です。

全ての働く者が、安全・安心に働ける職場環境・労働条件を築くためにも、「安全・仕事総点検運動」を通年闘争として展開し、抜本的な安全・事故再発防止対策をはじめ適正要員の確保と労働条件向上の向け全力を挙げていきます。

10月・11月 内外の動き

10月1日

横須賀の米空母母港化反対・原子力空母の配備撤回を求める集会在横須賀ヴェルニ公園で開かれた。

10月5日

八王子地区本部 新組合員加入歓迎会を開催。

10月8日

鉄道関連労組 BBQ 交流会を開催。

10月13日

河野太郎デジタル担当大臣が健康保険証ほか運転免許証も2024年をめどにマイナンバーカードに統合する方針を示した。

10月15日

八王子地区本部第26回定期大会を開催。

10月20日

関東交運労協33回定期総会を開催。

10月22日

大宮地区本部第23回定期大会を開催。

10月26日

JR東日本が、スマートフォンに表示したQRコードをかざすと通過できる、新型の自動改札機を導入する方針を固めた。実用化は2024年春の予定。

10月29日

神奈川県地区本部第27回定期大会を開催。

東京支部第3回定期大会を開催。

10月30日

密集した歩行者が折り重なるようにして転倒。日本人2人を含む150人超が死亡、100人超が負傷した。

10月31日

JR東日本が発表した今年4月から9月までの半年間の決算は、グループ全体の純損益は271億円の黒字となった。半年間の決算で黒字となるのは3年ぶり。最終的な利益は600億円となる予想。

11月3日

北朝鮮は南北分断後で初となる海上の境界線を越える形で韓国側の海上にミサイル発射した。

11月11日

JR東日本が年末手当について2.4か月+2万円12月5日の支払いの回答を示す。

11月18日

JR貨物は年末手当について1.62か月12月9日の支払いの回答を示す。

11月22日

東京地本第20回釣り大会。

11月26・27日

第10回国労フクシマ交流・視察を開催。



## 平和と民主主義の闘い

自民党は憲法改正に前向きな「改憲勢力」と合わせ、国会発議に必要な3分の2を維持する中で岸田政権は、衆議院での「憲法審査会」を開催し、通常国会での改憲発議を狙っています。さらに、政府案として国家安全保障戦略などの安保関連3文書を決し、敵基地攻撃能力保有について日米が協力して対処していくことを明記するなど、これまでの「専守防衛」から大きく変質させようとしています。

また防衛費倍増のため、軍事優先で増税し全国民に負担を求めるといふ暴挙に加え、戦闘機や護衛艦など殺傷能力のある兵器輸出の道を開くなど、「改憲」策動はもとより軍事大国化に向けた不穏な動きを強めています。

そして、法的根拠が存在しない「安倍国葬」の強行や旧統一協会との癒着問題、相次ぐスキャンダルと閣僚辞任などの腐敗政治を繰り返して、介護報酬の見直しや後期高齢者の医療費負担増等の社会保障制度改悪、首切り自由となる解雇の金銭解決制度の法制化などの反動政治を推し進めています。

岸田反動政権に対し、立憲主義を堅持する中で、国民本位の政治を取り戻し、平和・人権・民主主義を守るためにも、市民連合と立憲野党との共闘体制を再強化し、改憲阻止・早期退陣に向け、より奮闘し闘い抜かなければなりません。

## 2023年春闘で、生活改善を

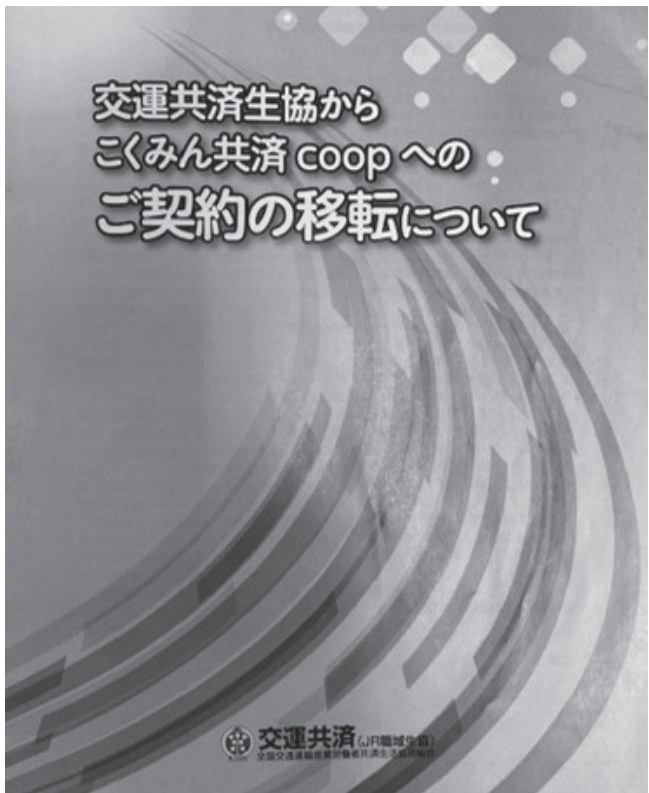
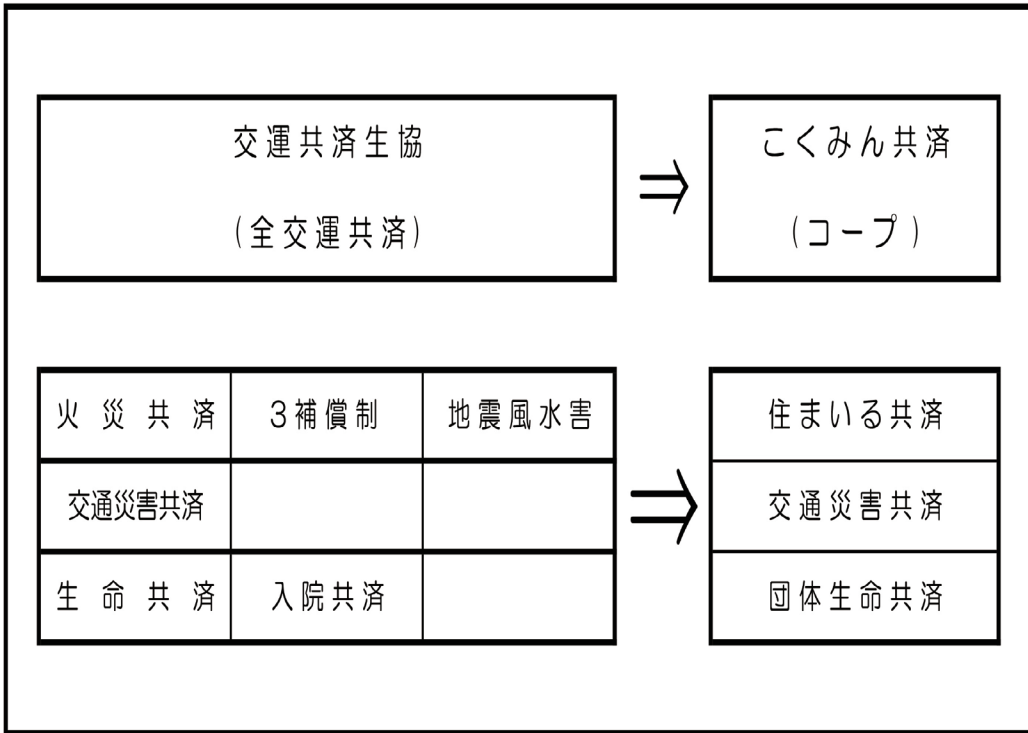
JR各社における定期昇給の完全実施を柱に安心して生活できる新賃金要求の実現、組織強化・拡大をはじめ安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善に向け、全組合員がまさに共有・参画する春闘として再生していかなければなりません。

同時に、山積する政治・国民的諸課題と連動させる中から地域春闘の強化と発展を展望し、闘う春闘の再構築に向け全ての力を傾注する決意です。

結びに、本年が組合員・家族の皆さまにとって実り多い年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

# 交通共済が（こくみん共済 COOP に）変わります。

## 交運共済（火災・交通・生命）は こくみん共済（コープ）に移転します



詳細はパンフレットをご覧ください

### 生きるためのがん保険Days1 WINGS

精密検査		要精検後精密検査給付金（※2）	検診ごとに1年に1回	2万円	（※4） 10年満期
診断	診断給付金	一時金として	がん	50万円	終身（※5）
	特定診断給付金（※3）	一時金として	がん	50万円	
	複数回診断給付金	1回につき	がん	50万円	
入院	入院給付金	1日につき	10,000円		終身（※5）
通院	通院給付金	1日につき	10,000円		
治療	治療給付金	受けた月ごと	10万円		10年満期
		ホルモン剤治療のみの場合	5万円		
	特定保険外診療給付金（※3）（※6）	受けた月ごと	50万円		
	がんゲノムプロファイリング検査 給付金（※3）	受けた月ごと	10万円		（※4）
先進医療・ 患者申出療養	がん先進医療・ 患者申出療養給付金（※3）	自己負担額と同額（通算2,000万円まで）			10年満期
	がん先進医療・ 患者申出療養一時金（※3）	一時金として1年に1回	15万円		
さらにニーズにあわせて特約を付加して、保障を強化					
外見ケア	〈外見ケア特約〉	①顔・頭部の手術②手足の切断術	頭髪の脱毛症状	（※4）	
	外見ケア給付金（※3）	①②各1回ずつ	20万円	1回限り	10万円
特定保険料払込免除（※3）					
免除事由に該当したとき以後の保険料はいただきません（保障は継続します）					

(※2) 所定のがんの検診を受診し、医師の要精密検査の判定により精密検査を受けたときにお支払いします。

(※3) 上皮内新生物は、保障の対象外です。

(※4) 所定の年齢まで10年ごとに更新があります。(※5) 治療給付金(がん治療保障特約)は、保険期間10年をお選びいただくこともできます。

(※6) がん診療連携拠点病院等において、公的医療保険制度の対象とならない所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療を受けたときにお支払いします。

●保障の開始まで3か月の待ち期間(保障されない期間)があります。団体取扱の待ち期間については「注意喚起情報」をご確認ください。●「先進医療」および「患者申出療養」は、厚生労働大臣が定める医療技術です。これらは医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状など)および実施する医療機関が限定されています。また、医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。●保険期間が10年満期の給付金については更新があり、更新後の保険料は更新時の満年齢・保険料率によって決まります。●ご希望により、記載以外の給付金額の設定などができます。●退職(退職)後は個別料率の保険料に変更となります。

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

〈引受保険会社〉

AFツール-2022-0277-2210030 7月13日

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5  
交通ビル3階

TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

「生きる」を創る。

Affac

アフラック

東京第二法人営業部

東京都千代田区丸の内1-6-1

丸の内センタービル19階

TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

契約年齢:0歳~満85歳まで  
〈要精検後精密検査給付金〉は  
満20歳~満85歳まで

#### 保険料例【団体取扱/月払】

左記プランの場合 <外見ケア特約>  
<特定保険料払込免除特約>付き  
解約払戻金なしタイプ 定額タイプ  
保険料払込期間:終身(<要精検後精密検査給付金><特定保険外診療給付金/がんゲノムプロファイリング検査給付金><がん先進医療・患者申出療養給付金/がん先進医療・患者申出療養一時金><外見ケア給付金>は10年更新)

契約日の 満年齢	男性	女性
20歳	2,833円	3,133円
30歳	3,904円	4,255円
40歳	5,702円	5,883円
50歳	8,663円	7,112円
60歳	13,644円	8,595円

2022年8月22日現在

## よろず相談

国労弁護団による無料法律相談

「コロナ禍でお困りのことはありませんか？」

新年度の定例相談は以下の通りです

2022年

1月19日(水) 佐藤誠一弁護士

3月9日(水) 村上一也弁護士

労働問題  
ハワハラ  
セクハラ

交通事故

振込詐欺

医療事故

近隣トラブル

夫婦関係

お気軽にご相談下さい。

随時相談も受け付けています！

国労東京地本事務所への電話連絡、もしくは直接弁護士に連絡して、日程をご相談下さい。(※相談料はかかりません) 国労東京地本事務所の電話番号は、03-3806-9261です。各弁護士事務所の電話番号は裏面を参照してください。



問い合わせ先

国労東京地本本部 東京都荒川区西日暮里2-55-1  
(鉄)054-2535/Fax2547(公)03-3806-9261/Fax9263